

GEKKAN ORIMOTO

## 月刊 織本

2月号

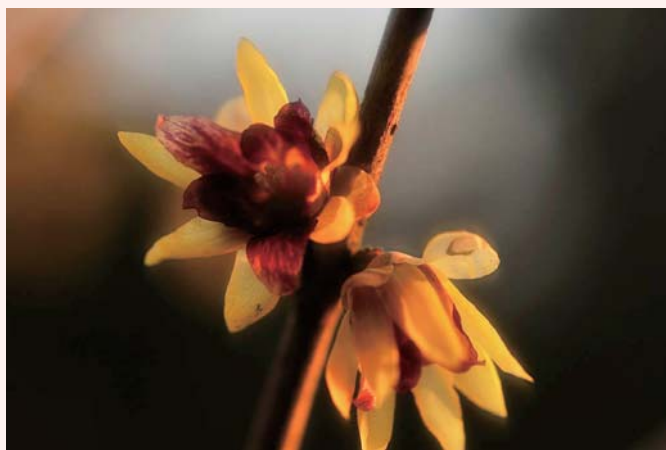
2010年2月1日 Vol.186

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121 URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木由利



蠟梅

## 生命体は死なない

～ “河井寛次郎の宇宙” から～

理事長・院長 高木由利



元旦から雪化粧の富士山の写真を撮り、楽しい1年が始まりました。4階の私の自室のエリアからは四方の景色が楽しめます。毎日寒い日が続きますが、この四季の移り変わりが日本の風土の美しさの表われではないでしょうか。

\* \* \*

1月に京都の学会へ行ったのですが、その時に念願の河井寛次郎記念館を訪れることができました。河井寛次郎氏は明治23年生まれ、陶芸家ですが、大正9年、京都市五条鐘鋳町に住居と窯を得、精力的に作陶、木彫、書などを発表していった方です。この方の作品が明治、大正時代の日本の中で受け入れられたかどうかは不明ですが、私の心の中には深く刻み込まれる作品ばかりでした。そして、その作品の数々は来訪者である我々も使って楽しむことが赦されているのですから、魅力は充分、体で感じるすることができます。

例えば餅つきのうすをくり抜いて椅子にして、しかもうすは重いので裏にはキャストが彫りこまれているのです。重いはずの“うすの椅子”は自由自在にコロコロ部屋の中を動きます。また2階に行く階段は側面に“取っ手”がついていて、引き出しになっているのです。階段も寛次郎さんにとっては家具なのです。



これらの発想の楽しさに私はますます惹かれてしまいました。



記念館に“河井寛次郎の宇宙”という本がありました。その中で“生命体は死なない”という考え方が書いてあるのですが、それは多分、氏の哲学だと思います。ある日、氏の愛娘が大切にしていた猫が突然いなくなり、娘は心身症になるほど悲しんだ事件が書かれています。その時、寛次郎氏は幼い娘に“大切な熊助がいなくなって悲しむ気持ちはわかるが、猫そのものの生命体は死なないから心配しないほうがいいよ。また何処かで生まれているよ。”幼かった娘はこのなぐ

さめを全く受け入れられなかったのですが、後年“生命体は死なない”の哲学を現実のこととして理解したのです。

私もこの下りを何回も読みながら自分の世界に当てはめてみました。私は10数年前にたった1人の師匠を亡くし、悲しみの中から立ち直る術を捜した時がありました。まだ若かった私にとってはあまりにも大きな事件であり、目の前に次々と現れる仕事をどうこなすかさえも悩んだのです。でもその時、夫のひとこと

で救われました。“小澤先生は亡くなられたけど、先生の医学は君の心の中と織本病院の中に永遠に残るんだよ。”これはまさに河井寛次郎氏の語る“生命体は死なない”なのだと思います。

人は愛する人を亡くし、悲しみに浸ることが人生の中で何度となくあるはずですが、でもその方が私たちの心の中で生き続け、それが私達の中で新しい形として生まれていけば、“生命体は死なない”のかもしれない。

## 透析導入される患者様の心理と心の変化

～腎疾患ゼミナールから～

透析センター看護師 五十嵐久美子



透析導入となられる患者様には様々な心の変化や葛藤があります。しかし、この時期はあくまでも一時的なものであることを忘れないで下さい。患者様が通らなければならないトンネルのようなモノかも知れません。このトンネルが比較的短い方もいれば、長い方もいらっしゃると思いますが自然に少しずつ消えていきますので心配しないで下さい。

たとえ病気があっても明るく毎日が過ごせれば良いと思いますし、そのような生活をきっと迎える事が出来ると思います。私達スタッフは患者様一人一人の気持ちを大切に、精一杯サポートさせていただきます。

\* \* \*

### ～透析に入られた患者様の心理・心の変化～

（2009年11月の腎疾患ゼミナールレジュメより抜粋）

#### ■第1段階

ショックの時期です。

「あなたは血液透析という治療が必要です。」と医師から告げられたら大きな衝撃を受けます。「そんなはずはない!」、「何かの間違いだ!」、「自分だけがどうして!」などの気持ちが湧いてきます。「はい、分かりました。」と答えることができる患者様は少ないようです。なんとかして透析をしないで済む、良い方法はないかと考えます。

#### ■第2段階

パニックの時期です。

時間はどんどん過ぎて、透析開始の時期が来ます。透析が現実のものとなると患者様によっては、取り乱したり、混乱したり、恐怖心を抱いてしまいます。そして、嘆きと怒りの気持ちが湧き上がって来るのです。医師や医療スタッフに対し、敵意や恨み、非難を示す方もいらっしゃいます。

#### ■第3段階

後悔の時期です。

外に向かっている感情が少しずつ自分に向けられ始めます。「なぜもっと早く気づかなかったのだろう...」、「医師の言うことを聞いておけばよかった...」と後悔の気持ちに変化します。そして、透析が嫌になってしまいます。「一生続くのか?」という気持ちになります。

#### ■第4段階

受け入れの時期です。

自分がおかれた現在の状況を良く理解して、透析を自分のものとして受け入れます。「透析をしながら人生を存分に楽しみたい」という新しい希望が湧いてきます。

\* \* \*

— 以下、理事長 高木由利 談 —

私が透析センターに赴任したのは1988年の6月。その時のセンターは荒涼とした魂の砂漠のような所でした。透析者は150人。患者さんの不平不満は多く、

またスタッフの患者さんに対する不満も多くありました。この淋しい状態をどう改善するかが私の命題となったのです。毎週ミーティングを繰り返し、患者さんと私が交わした心の交流をスタッフに話していきました。

その頃まだ一般のスタッフだった小林師長、藤野技士長は積極的に私の提案を受け入れてついて来てくれたのです。そして、久富主任、太田主任、五十嵐さん、佐原さんが加わり患者さんの心理、そして心のケアが確立されていきました。

今では様々な書物も書かれ、サイコネフロジーつまり透析者の心理についての研究会も開かれ、日本中

の透析医療従事者が学んでいます。



透析センタースタッフ

THE vol.48

病理診断

## 『ニーバーの祈り』

聖マリアンナ医科大学 診断病理学教室教授  
高木正之 先生



心の平安を持つ秘訣“平安の祈り”と言われている、ニーバーの祈りをご紹介します。

『神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気を我らに与えたまえ。  
変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。  
そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。』

この祈りは、第二次世界大戦中は兵士たちに配られ平安を与え、戦後はアルコール依存症患者の断酒会のモットーとして採用されました。

私には、自分の仕事に没頭するあまり本当に大事なことを見失う弱さがあります。これは、物事の優先順位を考えて生活習慣を変えろという勇気が与えられれば変えられます。また、変えることができないものは年を取っていくことです。以前は徹夜で仕事や遊びができましたが、今は無理がきかなくなりました。このような変えることができないことを“あきらめ”として否定的に考えるなら、心に平安はありません。しかし、それを肯定的に捉えて受け入れる冷静さがあれば心は平安になります。否定的に見えることを、肯定的に捉えるにはどうしたらいいのでしょうか。

私は次の聖書の言葉で、物事を肯定的に捉える冷静さが与えられました。『天が地よりも高いように、私（神様）の道は、あなたがたの道よりも高く、私の思いは、あなたがたの思いよりも高い。』人間の目には危機的状況でマイナスに見えることでも、神様の視点から見ると、それは神様がさらに素晴らしい人生へと導くための計画であると教えています。神様の視点から物事を見ることによって、変えられないことを受け入れる冷静さが与えられるのです。これが心の平安を保つ秘訣です。“ニーバーの祈り”を私の祈りにしたいと思います。

## インフルエンザワクチン予防接種のご案内

当院では只今、インフルエンザ予防接種（15歳以上）の予約を受け付けております。  
1階受付、もしくはお電話にて承っております。  
また、現在病院にかかられている患者様は必ず主治医と相談の上、ご予約ください。



### 新型インフルエンザ

#### ◎ 予約制

TEL 042-491-2121（9：00～17：00）

- 接種費用 1回 3,600円（税込）
- 対象年齢 15歳（高校生）以上

### 季節型（B型）インフルエンザ

#### ◎ 随時受付

月曜日～土曜日 9：00～17：00

- 接種費用 1回 2,940円（税込）
- 対象年齢 15歳（高校生）以上



## フットマッサージ & 足浴 で疲れた心と体を癒しませんか？

外来・入院患者様はもちろん、付き添いの方やお見舞いにいらしたご家族の方等も是非ご利用ください。

施術内容 足浴10分 & マッサージ10分

実施日時 月～土曜日 AM10:00～12:00

料金 1,000円（1F受付にてチケット購入）

場所 リハビリテーションセンター内

※ チケットは平日（月～土）の9:00～17:30に  
1F受付窓口にてお買い求めください。



## 第107回 腎疾患ゼミナール

### テーマ

『腎不全を理解しよう!! ①』 腎臓内科：高木由利

栄養科からのワンポイントアドバイス

『でんぷん製品を使って和菓子を作ろう!!』 管理栄養士：伊藤 夢見

どなたでもご参加頂けます。皆様ぜひお越しください。

日時：2010年2月18日（木）

午後1：00～

会場：オリモトホール（当院4F）

参加費：無料